

令和 5 年度 京都市美術館協議会 議案書

令和 5 年 1 0 月 3 1 日



**京都市美術館
(京都市京セラ美術館)
概 要**

施設概要

名称	面積(m ²)	名称	面積(m ²)	名称	面積(m ²)
北回廊 1階 展示室	840.72	別館 第1展示室	416.78	中央ホール	588.79
北回廊 2階 展示室	983.19	別館 第2展示室	499.85	カフェ	251.21
南回廊 1階 展示室	878.14	光の広間（北中庭）	445.89	ショップ	137.83
南回廊 2階 展示室	1,000.05	天の中庭（南中庭）	445.89	京セラスクエア	2,964.37
東山キューブ展示室	950.27	収蔵諸室	1,555.21	東山キューブテラス	616.91
ザ・トライアングル	89.61	講演室	179.49	日本庭園	3,411.79

■開館時間

10時～18時（展示室への入場は17時30分まで）

■休館日

月曜日（祝日の場合は開館）／年末年始（12月28日～1月2日）

■観覧料

コレクションルーム（常設展）

一般 京都市内在住の方：520円（70歳以上、障害者手帳を提示の方及びその介護者1名は無料）

市外在住の方：730円 団体（20名以上）：620円

小中高生等 京都市内在住又は通学の方：無料

市外在住の方：300円 団体（20名以上）：200円

小学生未満無料

「京都市美術館再整備基本計画」（平成27年3月策定）

- ・ 貴重な文化的財産を保存継承し、多様な美術作品の鑑賞機会を提供するとともに、次世代の若手作家や市民の創造的活動を支援する**複合型美術館**を目指す。
- ・ 芸術系大学や学校の美術教育との連携、市民協働の推進により、すべての人に開かれた生涯学習の場となる**社会教育施設**を目指す。
- ・ 岡崎地域のポテンシャルを生かし、文化・観光振興のための多彩なプロモーションを可能とする**国際文化観光都市・京都の発信拠点**を目指す。

運営体制等

＜総務課＞事務職員…12人（部長1、課長2、係長3、係員4、事務補助2）

＜学芸課＞学芸員…9人（係長1、係員3、会計年度任用職員3、学芸補助2）

＜主な外部委託の状況＞

業務名	業務内容	委託先
事業企画推進業務	事業企画業務（展覧会企画・誘致等、学芸員5名在籍）、企画推進業務（展示デザイン、広報PR、スペースレンタル営業などの支援）	（株）長谷ビル
運営サービス業務	来館者及び利用者への総合サービス、総合案内・クローク業務、チケットカウンター、改札、看視業務	サントリーパブリシティサービス（株）
施設マネジメント業務	展示・イベント・施設利用に係る管理及び運営支援業務	（株）ブランコ
清掃業務	本館及び別館の清掃業務	日本管財（株）
建築設備保守管理業務	本館及び別館の建築設備保守管理業務	日本管財（株）
警備業務	本館及び別館の警備業務（24時間常駐）	セコム（株）

■平成27年3月「京都市美術館再整備基本計画」

美術館運営の基盤をなす学芸部門は直営体制を基本とし、広報や資金調達など、民間の人材、ノウハウが活かせる部門については民間活力の導入も視野に、京都市として責任ある体制を堅持しつつ、さらに魅力を高める運営の在り方を検討する。

令和 4 年度事業報告

入館者数の推移（平成28年度～令和4年度）

入館者数の推移（人）



主催展一覧

近現代日本画、現代美術、工芸など多様な作品の鑑賞機会を提供。

展覧会名	共催	会期	日数	会場	入場者数実数(人) (1日あたり)
森村泰昌：ワタシの迷宮劇場	毎日新聞社 京都新聞	R4.3.12～R4.6.5	76	新館東山 キューブ	18,403 (242/日)
綺羅めく京の明治美術―世界が驚いた帝室技芸員の神業	京都市、京都新聞、ライブエグザム、BSフジ、日本経済新聞社	R4.7.23～R4.9.19	51	南回廊1 F	18,252 (358/日)
第9回日展京都展	京都市、京都新聞)	R4.12.24～R5.1.20	20	北回廊 1F2F、南回廊2F、 光の広間	22,610 (1,131/日)
跳躍するつくり手たち：人と自然の未来を見つめるアート、デザイン、テクノロジー	京都市、京都新聞、日本経済新聞社	R4.3.9～R5.6.4	76	新館東山 キューブ	26,667 (351/日)
合 計			223		85,932

現代美術におけるセルフポートレートの先駆者の一人である森村泰昌が、秘蔵インスタント写真800枚以上を含む作品から35年超のキャリアを総括する大規模個展。



Photo: Miyoshi Fumitaka

綺羅めく京の明治美術―世界が驚いた帝室技芸員の神業

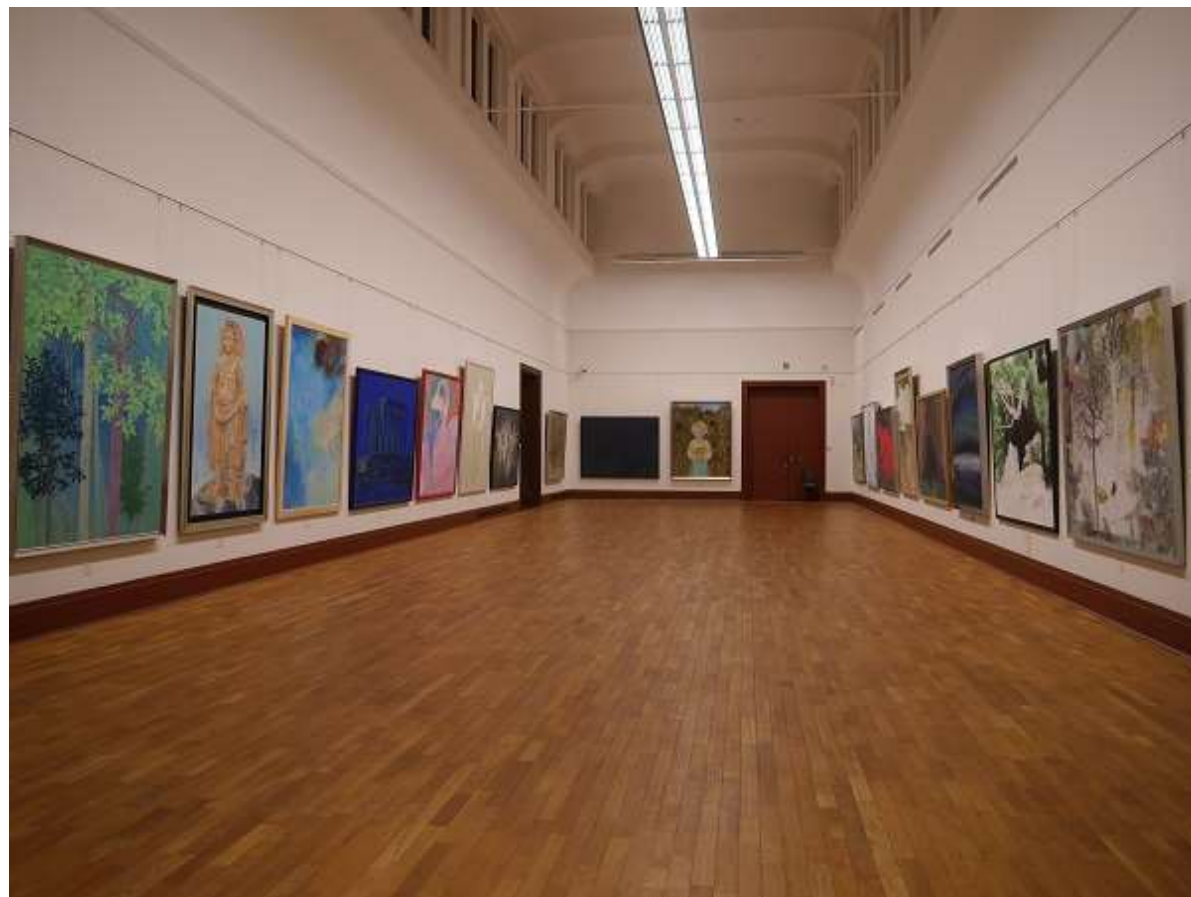
明治維新によって江戸時代からの諸藩の庇護を失った画家・工芸家の窮状を救い、技術の保存と美術奨励を目的として、1890（明治23）年、帝室（皇室）が優れた美術工芸家を保護し顕彰する帝室技芸員制度が発足された。

本展では、制度が発足した明治期を中心に、京都にゆかりのある19人の帝室技芸員の作品を展示。最高峰とたたえられた名作を通して、明治期京都の技と美を紹介した。



第9回日展京都展

明治40年に開設された文部省美術展覧会を前身とする全国規模の公募展の京都巡回展。日本画、洋画、彫刻、工芸美術、書の5部門にわたって、全国巡回の基本作品と、京都・滋賀の地元作品の計453点を出品。



日本画部門の展示風景

跳躍するつくり手たち

人間や地球の歴史を意識しながら、柔軟な発想でめざましい活動を展開する日本のアート、デザイン分野の気鋭の20作家（個人・チーム）による展覧会。

世界が直面する激動の時代に求められる「創造へ向かう跳躍するエネルギー」が鮮やかに浮かび上がった。



Photo: Koroda Takeru

ザ・トライアングル

北西の角の地下1階に、京都ゆかりの作家を中心に新進作家を育み、当館を訪れる方々が気軽に現代美術に触れる場を提供。

■彦坂 敏昭「砂のはなし」

(令和4年5月31日(火)～令和4年9月25日(日))

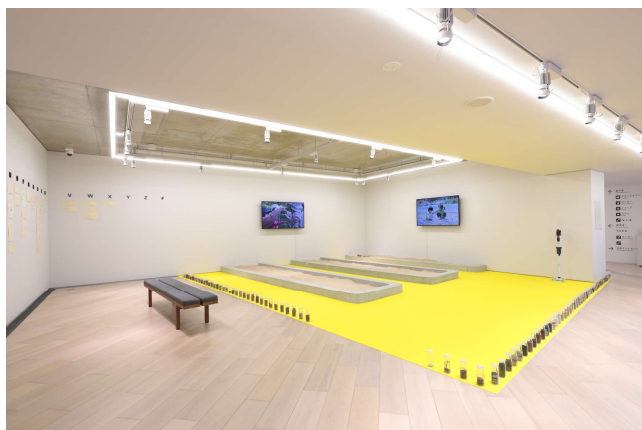
■藤田 紗衣「仮想ボディに風」

(令和4年10月8日(土)～令和5年1月29日(日))

■八幡 亜樹「ベシュバルマクと呼ばないで//2022」

(令和5年2月14日(火)～令和5年5月28日(日))

彦坂 敏昭「砂のはなし」



藤田 紗衣「仮想ボディに風」



八幡 亜樹
「ベシュバルマクと呼ばないで//2022」



コレクションルーム（常設展）

四季に合わせた年４回の展示替えにより所蔵品を展示する「コレクションルーム」。京都市美術館の所蔵品を年間通じて鑑賞できる環境を整備。

展覧会名	会期	日数	会場	入場者数実績（人） （１日あたり）
春期	R 4 .4.29～R4.7.10	64	南回廊 1 F	12,187 (190/日)
夏期	R4.7.16～R4.9.25	64	北回廊 1 F	13,714 (214/日)
秋期	R4.9.30～R4.11.13	40	南回廊 1 F	7,731 (193/日)
冬期	R4.12.4～R5.3.5	75	南回廊 1 F	14,765 (197/日)
合 計		243		48,397 (199/日)

コレクションルーム（常設展） — 展示構成

春 期

- 106 春の名品
- 110・南広間 春から初夏へ 萌立つ季節
- 108・109 絵になる京都1 画家の視点
- 南広間 釉薬の彩り 宇野家の作陶
- 108 絵になる京都2 鮮彩な工芸
- 107 絵になる京都3 光そそぐ風景
- 106 魅せる初夏の工芸

秋 期

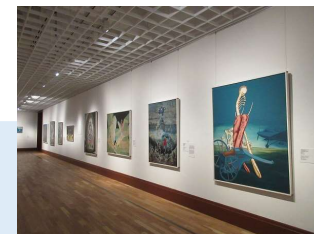
- 106 月を愛でる
- 110 自然を捉える
- 109 身体、装飾、ユーモラス 〈座る〉こと
- 南広間 身体、装飾、ユーモラス フォルムと装飾
- 108 身体、装飾、ユーモラス わたしとあなた
- 107 身体、装飾、ユーモラス からっぽの「からだ」
- 106 身体、装飾、ユーモラス ユーモラス・ボディ



107号室

夏 期

- 105a 夏の名品
- 101 海辺の暮らし
- 102 近代西洋版画への誘い
—THE ZERO COLLECTIONより
- 103 幻想の系譜1 象徴主義・
シュルレアリスム・ウィーン幻想派
—THE ZERO COLLECTIONより
- 104 幻想の系譜2
北脇昇・小牧源太郎・今井憲一
- 105b 清水六兵衛 創造のあゆみ



104号室

冬 期

- 106、110、109 東アジアと近代京都の美術
- 南広間 磁器の美—白磁を中心に
- 108、107 冬の景
- 107 室内にいる女性/時空を超えた眼
- 106 戦後関西の前衛ムーヴメント

（＊数字は部屋番号）

共催展

魅力的な海外展をはじめ、多彩なジャンルの展覧会を開催。

展覧会名	主催者	会期	日数	会場	入場者数実績（人） （1日あたり）
兵馬俑と古代中国	産経新聞社 関西テレビ放送他	R4.3.25～R4.5.22	52	北回廊2F	87,971 (1,692/日)
第3回PATinKyoto 京都版画トリエンナーレ2022	「第3回PATinKyoto京都版 画トリエンナーレ」推進委 員会他	R4.4.12～R4.5.8	25	南回廊2F	3,728 (149/日)
KYOTOGRAPHIE 京都国際写真祭 2022「アー ヴィング・ペン」	一般社団法人 KYOTOGRAPHIE	R4.4.9～R4.5.8	27	別館	13,698 (507/日)
ポンペイ展	ナポリ国立考古学博物館、 朝日新聞社、NHK京都放送 局他	R4.4.21～R4.7.3	65	北回廊1F	130,369 (2,006/日)
A V E N G E R S 展	読売新聞社、読売テレビ他	R4.7.8～R4.8.26	44	新館東山 キューブ	60,401 (1,373/日)
アンディ・ウォーホル・キョウト /ANDY WARHOL KYOTO	SME、MBSテレビ他	R4.9.17～R5.2.12	126	新館東山 キューブ	242,463 (1,924/日)
サンリオ展 ニッポンのカワイイ文化60年史	関西テレビ放送 産経新聞社他	R4.10.7～R4.12.11	58	北回廊2F	88,135 (1,520/日)
ボテ口展 ふくよかな魔法	読売テレビ、読売新聞社他	R4.10.8～R4.12.11	57	北回廊1F	43,297 (760/日)
合 計			454		670,062

多様なジャンルの美術団体等に発表の場を提供することにより、次世代の若手作家や、市民の創作活動を支援。

年度	貸館件数	入場者数（人）	使用料収入（千円）
令和2年度	68	103,019	19,318
令和3年度	115	173,450	37,513
令和4年度	127	209,106	39,747

※令和2年度については、新型コロナウイルス感染症に伴うキャンセルが相次いだ。

京都市美術館美術品収集方針

(平成30年11月14日決定)

日本文化の創造と継承の中心地である京都における近代以降の美術※ 1 を展望できる総合的なコレクション※ 2 を、世界的な視野に立って形成するために必要な作家の作品及び資料を計画的に継続して収集する。

1. 近代以降の美術において重要な位置を占める作家の作品及び資料を収集する。
2. 現代の美術において新たな展開を見せる作家の作品及び資料を収集する。
3. 近代以降の美術に有意義な関連のある国内及び海外の作家の作品及び資料を収集する。
4. 主要な作家については、作風の変遷を見ることができるよう、各時期の作品を収集する。
5. 上記の作品及び資料について、長期的な計画に従って毎年継続して収集する。

※ 1 明治以降から現在までの美術を意味するが、近代の美術の形成に影響を与えた江戸期の美術まで遡及するものとする。

※ 2 既存の部門（日本画、洋画、版画、彫刻、工芸、書）だけでなく、新たな分野（写真、映像など）の作品も対象とする。

■ 収集点数：購入 10点
寄贈 148点

■ 購入作品：購入金額 12, 166千円)

- ・ 竹内栖鳳 《秋溪麋鹿》
- ・ 案本一洋 《髪》
- ・ 狗巻賢二 《D-3》 《作品92-57》 《みどりのかたち1》
- ・ 宮永愛子 《はじまりの景色（くぼみに眠る海／光響）》
《くぼみに眠る海—仔犬—》 《くぼみに眠る海—水鳥—》
- ・ 伊東翠壺 《染付四君子文花瓶》
- ・ 黒井光珉 《柿の一枝》

■ 主な寄贈作品

稲垣稔次郎 《夏草図の着物》 他：令和5年度夏期コレクションルームにて展示

坪井明日香 《びわ物語》 他

伊庭新太郎 《風の賦》 他



竹内栖鳳 《秋溪麋鹿》



案本一洋 《髪》



黒井光珉 《柿の一枝》



宮永愛子 《くぼみに眠る海—仔犬—》

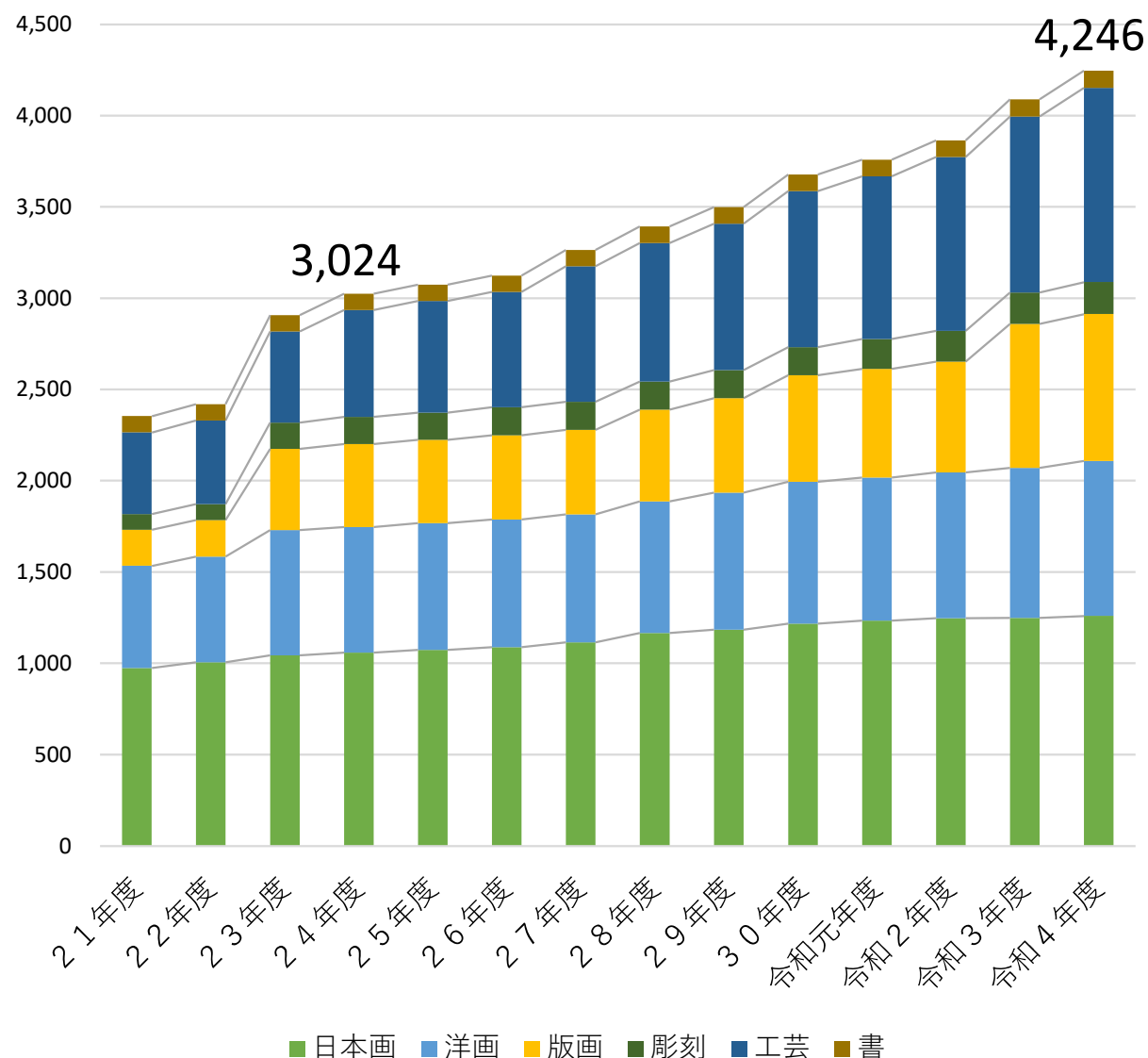
美術品の収集

■ 令和4年度 取得内訳
※ () 内は所蔵作品数

日本画	11点
(計	1,260点)
洋画	27点
(計	849点)
版画	16点
(計	804点)
彫刻	3点
(計	175点)
工芸	101点
(計	1,064点)
書	0点
(計	94点)
合計	158点
(計	4,246点)

※令和5年4月1日現在

収蔵品の推移



■作品貸出 令和4年度：28件 62点

(主な貸出先)

- ・千葉市美術館、京都国立近代美術館：
「生誕100年 清水九兵衛／七代清水六兵衛」
－清水九兵衛《京空間A》他 計8点
- ・泉屋博古館、泉屋博古館東京：「木島桜谷—山水夢中—」
－木島桜谷《寒月》他 計3点
- ・東京国立近代美術館：「重要文化財の秘密」
－竹内栖鳳《絵になる最初》

■デジタルアーカイブ

デジタル化したデータは、雑誌、書籍への掲載や作品貸出の際の活用に加え、美術館ウェブサイトの「当館の名品」コーナーで公開



清水九兵衛《京空間A》
京都国立近代美術館 展示風景

年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
日本画	1,273	1,289	1291
洋 画	823	826	837
版 画	534	543	578
彫 刻	151	155	158
工 芸	736	790	804
書	78	78	81

デジタル化作品数（点）

■美術館二ニュースの発行（年2回）

219号：

- ・川上典李子「監修者として、いま考えること〈インタビュー〉：特別展『跳躍するつくり手たち 人と自然の未来を見つめるアート、デザイン、テクノロジー』の開催に向けて」（聞き手：土屋隆英）
- ・新装版「作家にきく」no. 4 渋谷和子（聞き手：京都市美術館学芸課） 等

220号：

- ・高木博志「京都の帝室技芸員：特別展『綺羅めく京の明治美術―世界が驚いた帝室技芸員の神業』に寄せて」
- ・新装版「作家にきく」no. 5 松本泰章（聞き手：京都市美術館学芸課） 等

■研究紀要（年1回発行）

第2号

○論文

- ・後藤結美子「沼田一雅と陶彫～京都との関わりを中心に」

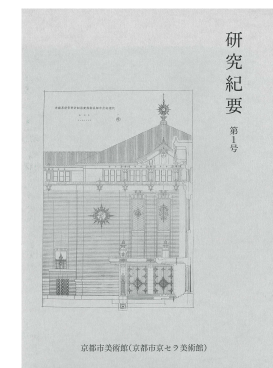
○資料紹介

- ・中谷至宏「大礼記念京都美術館評議員会 議事録」

○展覧会報告

- ・前田尚武「京都市京セラ美術館開館1周年記念展『モダン建築の京都』」

○作家にきく・三代宮永東山（聞き手・編集：後藤結美子、中山摩衣子、影山侑恵）



■ 図録執筆

『綺羅めく京の明治美術―世界が驚いた帝室技芸員の神業』

- ・ 論文
後藤結美子「帝室技芸員制度と京都の工芸家」
森光彦「京都の画家が見た東京」
- ・ コラム、章解説、作品解説執筆：
森光彦、後藤結美子、中山摩衣子



『ボテ口展 ふくよかな魔法』

- ・ 章解説翻訳：中山摩衣子（部分）

『ANDY WARHOL KYOTO』

- ・ 章解説：山田隆行（事業企画推進室）
- ・ 章解説翻訳：土屋隆英（事業企画推進室）

『跳躍するつくり手たち：人と自然の未来を見つめるアート、デザイン、テクノロジー』

- ・ 作品解説：土屋隆英、前田尚武、野崎昌弘（事業企画推進室）



■ CONNECTとの取組

本館2階談話室にて、「視覚に障害のある方との対話型美術鑑賞」の映像展示、手話と文字による館内案内動画の上映を行った。



■ ラーニングツールの作成

名画との縁結びシートや配信動画等のラーニングツール（計9種）を作成し、館内での配布やHPへ掲載・公開

■ ぽよよんDAYSの実施

談話室や展示室を活用し、子供も大人も学び合える「妄想鑑賞レッスン」や「ラーニング・ツール体験会」などのワークショップを行い、美術館の楽しみ方や学び合いの機会を創出（計4回。延べ427名が参加）

■ 京都芸術教育コンソーシアム（Art-e Kyoto）への参画

■ギャラリートークの実施

展覧会名	回数	延べ参加者数
綺羅めく京の明治美術： 世界が驚いた帝室技芸員の神業	3	81
アンディ・ウォーホル・キョウト	6	60
「森村泰昌：ワタシの迷宮劇場」	5	74
第3回PATinKyoto京都版画トリエンナーレ2022	1	—



その他、メンバーシップ会員向けにギャラリートークを開催

■アーティストトークの実施

展覧会名	回数	延べ参加者数
ザ・トライアングル 彦坂敏昭	1	26
ザ・トライアングル 藤田紗衣	1	10
ザ・トライアングル 八幡亜樹	1	15
ザ・トライアングル 川人綾	1	15
跳躍するつくり手たち：人と自然の未来を見つめるアート、デザイン、テクノロジー	4	80
第3回PATinKyoto京都版画トリエンナーレ2022	8	—

■ 講演会等の実施

展覧会名：内容等	回数	延べ参加者数
「森村泰昌：ワタシの迷宮劇場」：森村泰昌による「ワタシの迷宮講座」	1	12
「森村泰昌：ワタシの迷宮劇場」：黄昏どきの「声」の劇 - 森村泰昌（声）× 中川裕貴（チェロ）	1	-
綺羅めく京の明治美術―世界が驚いた帝室技芸員の神業：帝室技芸員から見た京都	1	50
コレクションルーム：アートピクニック	1	15
京都市京セラ美術館・京響共同企画 京響×京都 ザ・トライアングル「川人綾：斜めの領域」コラボコンサート	1	120
第9回日展京都展：視覚障害者のための「手で触れる日展」	1	36
記念講演会「兵馬俑と古代中国～その魅力とは」	1	100
記念講演会「兵馬俑と古代中国～俑の変遷と時代背景」	1	60
第3回PATinKyoto京都版画トリエンナーレ2022：シンポジウム	1	-
アンディ・ウォーホル・キョウト：オープニングトーク～ピッツバーグから京都へ	1	75
アンディ・ウォーホル・キョウト：講演会「アンディ・ウォーホルと日本のポップ」	1	56
CONNECT⇄：「無視覚流」で楽しむ！ 京風まちあるき	1	15

2022/11/6(日)
「ANDY WARHOL KYOTO」
関連プログラム
ワークショップ「教えてウォーホル！ What is POP?」



■Instagram、Facebookへの記事掲載

年間通じてほぼ毎日、InstagramやFacebookに展覧会やイベント等に関する記事を掲載。

	H31	R2	R3	R4
Instagram（フォロワー数）	4,403	21,867	30,578	42,451
Facebook（「いいね」数）	4,241	10,235	13,213	16,656
YouTube（登録者数）	87	866	1,600	1,917

クリッピング数（令和4年度）

掲載件数（日本語）

全体	新聞	Web	雑誌	TV・ラジオ
7,188件	1,230件	5,776件	141件	41件

掲載件数（多言語）

全体	新聞	Web	雑誌	TV・ラジオ
14件	-	10件	4件	-

* 共催関連は当館で確認できたものののみ集計。
多言語も掲載連絡があったものののみ集計。

■ 公式YouTubeチャンネル

展覧会やラーニング等に関する動画コンテンツを作成し、公式YouTubeチャンネルで公開。



動画名
ザ・トライアングル 川人綾：斜めの領域
京都市京セラ美術館開館1周年記念展「森村泰昌：ワタシの迷宮劇場」
ザ・トライアングル 彦坂敏昭：砂のはなし
特別展 綺羅めく京の明治美術 関連インタビュー：帝室技芸員の魅力を語る#1 村田理如氏「加納夏雄、並河靖之」
特別展 綺羅めく京の明治美術 関連インタビュー：帝室技芸員の魅力を語る#2 関和男氏「三代清風與平」
特別展 綺羅めく京の明治美術 関連インタビュー：帝室技芸員の魅力を語る#3 田邊哲人氏「初代宮川香山、三代清風與平」
特別展 綺羅めく京の明治美術 関連インタビュー：帝室技芸員の魅力を語る#4 山本博士氏「初代宮川香山」
特別展 綺羅めく京の明治美術 関連インタビュー：帝室技芸員の魅力を語る#5 前崎信也氏「三代清風與平、初代伊東陶山、初代諏訪蘇山、初代宮川香山」
京都市京セラ美術館開館1周年記念展「森村泰昌：ワタシの迷宮劇場」展示記録
ザ・トライアングル「藤田紗衣：仮想ボディに風」The Triangle Fujita Sae: Avirtual body, a drifting wind
京都市京セラ美術館のコレクションルームについて
京都市京セラ美術館の談話室とラーニングツールについて
手話・字幕「コレクションとの対話：6つの部屋」開幕記念座談会「コレクションとの共演，競演，饗宴」登壇者：青木淳，ひろいのぶこ，宮永愛子，高橋耕平，モデレーター：中谷至宏（当館学芸員）
トークシリーズ「実はよく知らないんだよ。だから聞いてみようと思う。（中原）」松本卓也さんの回（2回目）
京都市京セラ美術館ラーニング・プログラム「視覚に障害のある方との対話型美術鑑賞」

来館者サービス（多言語対応、キャッシュレス）

■コレクションルーム音声ガイドの多言語化

コレクションルームで展示している作品を紹介する音声ガイドを、4か国語（日・英・中・韓）で作成している（累計155作品）。

■キャッシュレス対応

- ・ クレジットカード、電子マネー、QRコード決済による観覧料や音声ガイド利用料（コレクションルームのみ）のキャッシュレス化
- ・ 自主・共催展覧会のオンラインチケット販売を実施
 - ※ 入場者多数の展覧会は日時指定チケットにより混雑緩和
 - ※ チケット販売のほか、事前に観覧券をお持ちの方による観覧日時予約も実施

※ チケット購入画面



アメニティ施設（カフェ・ショップ等）

エンフューズ ミュージアムカフェ「ENFUSE」

営業時間：10時30分～19時（定休日：美術館休館日に準ずる）
利用者数：約90,000人（令和4年度）

<令和4年度の主な取組>

■ 展覧会にあわせた期間限定メニューの提供（以下は一例）



2022年春期コレクションルーム
コラボ和菓子
板倉星光《春雨》



2022年秋期コレクションルーム
コラボ和菓子
小名木陽一《肺と腎臓》



アンディ・ウォーホル・キョウト
コラボメニュー＜季節のポタージュ2種＞



店頭での焼き菓子販売
全て手作りのオリジナル焼き菓子

■ ENFUSEでLIVEイベント「inter-section」を開催



インストゥルメタルバンドnabowaのバイオリニストの山本啓氏をお迎えし空間を生かしたアンビエントな音楽ライブを開催しました。

美術館で「音楽と出会う場」だけではなく、耳や空間で楽しめる新たな試みをカフェで実施。「inter-section」には交錯するという意味があり、色々な人々が行き交い混じり生まれる音楽のアートを目指したライブイベントをコンセプトとしています。

アメニティ施設（カフェ・ショップ等）

ミュージアムショップ「ART RECTANGLE KYOTO」 アート レクタングル キョウト

営業時間：10時30分～18時30分（定休日：美術館休館日に準ずる）

利用者数：約73,000人（令和4年度）

<令和4年度の主な取組>

■ 展覧会にあわせた関連商品の販売（以下は一例）



アンディ・ウォーホル・
キョウト展
関連商品の販売



菓子職人「御菓子司 聚洗」コラボ
（2～3カ月ごとにモチーフ（主に
展示作品）を替え、月2回の限定
販売）

※2023年2月まで定期販売
3月以降は不定期販売

■ 京都市京セラ美術館オリジナルグッズの販売

<グッズの一例>

茶筒、手ぬぐい、ノート、ポストカード 各種 etc.



■ 京都ミュージアムズ・フォー

(参加館：京都国立博物館、京都国立近代美術館、
京都文化博物館、京都市京セラ美術館)

4館スケジュールパンフレットの作成や連携講座、スタンプラリー、
4館友の会相互割引の実施

■ 3館相互割引

(参加館：京都国立近代美術館、細見美術館、
京都市京セラ美術館)

観覧者や友の会会員に対する相互割引の実施

■ 京都伝統産業ミュージアムとの相互割引 入場券の提示でコレクションルーム団体料金適用

■ 京博連（京都市博物館施設連絡協議会） 第26回京都ミュージアムロードへの参加



メンバーシップ

令和4年度は新たに法人メンバー限定イベントを開催。メンバー同士の交流を図る、初めての取り組みとなった。

〈個人会員〉

区 分	令和3年度	令和4年度
フレンド	1,568	1,610
フレンドU25	72	75
サポーターフェロー	44	47
e-フレンド	1,378	2,406
合 計	3,062	4,138

〈法人会員〉

区 分	令和3年度	令和4年度
プラチナ（5,000,000円/年）	2	2
ゴールド（3,000,000円/年）	0	0
シルバー（1,000,000円/年）	7	6
ブロンズ（100,000円/口/年）	21	21
合 計	30	29

■活動

- ・ Members Newsの発行（年4回）
美術館のリニューアル1周年記念に際し、調度品を贈呈
- ・ 美術館支援事業（作品修復等）

■実施イベント

- ・ 展覧会に係るギャラリートーク
- ・ コレクションルーム早朝観覧
- ・ 法人メンバー限定イベント

等



令和4年度から利用可能となった中央ホールに加え、光の広間や東エントランスロビーをレセプション等のユニークベニユーとして積極的に活用した。

■ 主なMICE利用実績



内 容	期 間（設営撤去期間含む）
カルティエ 「シジエム サンズ パル カルティエ」	R4.3.28~R4.4.21
京都商工会議所 議員懇話会創立40周年記念事業	R4.6.13
ハイブランド晚餐会	R4.7.5~R4.7.8
SAKE Spring 2022 VIPパーティー	R4.7.10
RARAフェロー交流会	R4.7.25
京都レザーファッションショー & 受注会	R4.11.14~R4.11.15
HERMES IN THE MAKING	R4.11.15~R4.11.30
Art Collaboration Kyoto Opening Reception	R4.11.17

令和4年度決算概要

令和4年度決算は、予算と比較して、歳入が、展覧会収入等の減少により約7,900万円の減額となった一方、歳出は、光熱水費の高騰が著しい中、運営経費の節減や執行抑制等により約5,500万円の減額となり、一般財源（市税等）の負担は予算比2,400万円の増額の3億4800万円となった。

（単位：百万円）

項目	令和4年度 予算	令和4年度 決算	差引	決算のうち主なもの
歳入	679	600	△79	コレクション展25、美術館使用料344、寄附金27、展覧会配当収入等118 など
歳出	1,003	948	△55	展覧会企画・施設運営等（維持管理含む）734、コレクション展26、展覧会負担金等167、館内維持修繕1 など
一般財源 (税負担額)	324	348	24	

※前年度からの繰越を含む。

令和 5 年度事業について

＜再整備基本計画：魅力的な展覧会の開催＞

- ・「京都画壇」を多角的に紹介し、京都の美の系譜を重層的に理解できる常設展を開催
- ・世界が注目する多様な芸術表現を取り上げた現代美術等の企画展を開催
- ・美術・工芸の系譜に連なる伝統産業製品に着目し、地場産業の振興、技術の普及継承につながる展覧会を開催

展覧会名	共催	会期	日数	会場	入場者数実績(人) (1日あたり)
京都市美術館90周年記念展 「竹内栖鳳 破壊と創生のエネルギー」	京都新聞、ライブエグザム、BSフジ、日本経済新聞社	R5.10.7～R5.11.5 R5.11.7～R5.12.3	51	南回廊1F	—
第10回日展京都展	京都新聞	R5.12.23～R6.1.20	21	北回廊1F2F、 光の広間、 南回廊2F	—
京都市美術館開館90周年記念展 村上隆 もののけ 京都	朝日新聞社、京都新聞、NHK京都放送局、NHKエンタープライズ近畿	R6.2.3～R6.9.1	187	新館東山 キューブ	—
合 計			259		—

＜再整備基本計画：魅力的な展覧会の開催、次世代の育成＞

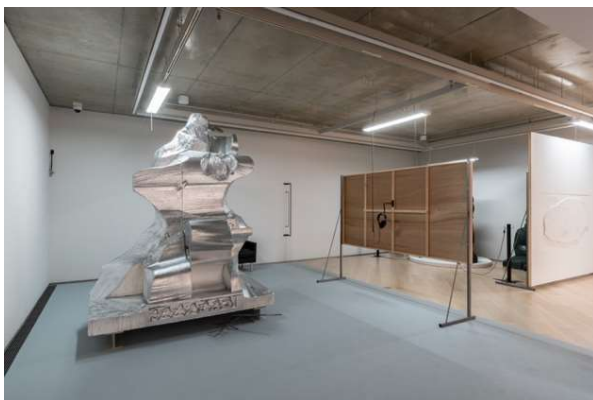
- ・ 世界が注目する多様な芸術表現を取り上げた現代美術等の企画展を開催
- ・ 若手作家や市民の創作活動を支援

■ 米村 優人「BAROM（あるいは幾つかの長い話）」
（令和5年6月20日（火）～令和5年9月24日（日））

■ 山本 雄教「仮想の換金 (priceless museum)」
（令和5年10月13日（金）～令和6年2月12日（月・祝））

■ 嶋 春香「タイトル未定」
（令和6年3月5日（火）～令和6年6月23日（日））

米村 優人
「BAROM（あるいは幾つかの長い話）」



山本 雄教
「仮想の換金 (priceless museum)」



嶋 春香



＜再整備基本計画：魅力的な展覧会の開催＞

- ・「京都画壇」を多角的に紹介し、京都の美の系譜を重層的に理解できる常設展を開催

展覧会名	会期	日数	会場	入場者数実績（人） （1日あたり）
春期 特集「魅惑の昭和モダン」	R5.3.10～R5.6.18	87	南回廊1F	22,204 (255/日)
夏期 特集「人間国宝 稲垣稔次郎 ― 遊び心に触れて―」	R5.6.23～R5.9.24	82	南回廊1F	23,610 (288人/日)
秋期 特集「Tardiologyへの道程」	R5.10.27～R5.12.17	63	北回廊1F	-
冬期 特集「昭和前期の日本画と古典」	R5.12.22～R6.2.25	54	南回廊1F	-
	合 計	286		-

<再整備基本計画：魅力的な展覧会の開催>

・魅力的な海外展の誘致、特色ある美術館とのパートナーシップによる多彩で国際的な文化芸術交流を推進

展覧会名	主催者	会期	日数	会場	入場者数実績（人） （1日あたり）
生誕100年 回顧展 石本正	朝日新聞社、京都新聞他	R5.4.4～R5.5.28	48	北回廊2F	13,510 (281/日)
マリー・ローランサンとモード	関西テレビ放送、産経新聞社、京都新聞他	R5.4.16～R5.6.11	49	北回廊1F	31,806 (649/日)
ルーヴル美術館展 愛を描く	ルーヴル美術館、読売テレビ、読売新聞社、キョードー他	R5.6.27～R5.9.24	79	北回廊1F、 新館東山 キューブ	288,610 (3,653/日)
井田幸昌展 Panta Rhei パンタ・レイー世界が存在する限り	京都新聞他	R5.9.30～R5.12.3	57	南回廊2F	—
MUCA展 ICONS of Urban Art ～バンクシーからカウズまで～	ICONS of Urban Art制作委員会他	R5.10.20～R6.1.8	65	新館東山 キューブ	—
パリ ポンピドゥーセンター キュビズム展—美の革命—ピカソ、 ブラックからドローネー、シャ ガールへ	日本経済新聞社他	R6.3.20～R6.7.7	97	北回廊1F 南回廊2F	—
合 計			396		—

＜再整備基本計画：調査研究の充実＞

- ・ 京都で活動する作家や美術関係者の自主研究会等とも連携し、調査研究のネットワーク拡大と知見の向上を図る。

■美術館ニュースの発行

京都市京セラ美術館ニュース221号

- ・ 後藤結美子「竹内栖鳳の画室『霞中庵』を訪れて～京都市美術館90周年記念展『竹内栖鳳 破壊と創生のエネルギー』に寄せて」
- ・ インタビュー「ザ・トライアングル 山本雄教：仮想の課金（priceless museum）」
- ・ 新装版「作家にきく」no.6 河口龍夫

■研究紀要の作成

■図録執筆

『竹内栖鳳 破壊と創生のエネルギー』

- ・ 論文
平野重光「竹内栖鳳の芸術」
廣田孝「《ベニスの月》と高島屋」
森光彦「栖鳳と日本画界」
後藤結美子「竹内栖鳳と写生帖―着想の原点」
- ・ コラム、章解説、作品解説執筆：
森光彦、後藤結美子、大森奈津子、影山侑恵

『パリ ポンピドゥーセンター キュビズム展

―美の革命 ピカソ、ブラックからドローネー、シャガールへ』

（当館では2024年3月20日～7月7日開催）

- ・ 論文
中山摩衣子「1950年代 アンドレ・ロートと日本―キュビズムをめぐる試論」



＜再整備基本計画：教育普及の充実＞

- ・芸術系大学や高校と連携し、ワークショップルーム等で独自の先駆的教育を体験できる場を提供
- ・子どもや先生を対象に常設展の鑑賞講座や、ワークショップ、作家の創作過程の公開等の体験型プログラムを提供する。

展覧会名・内容等	回数	延べ参加者数
コレクションルーム春期 特集「魅惑の昭和モダン」関連ワークショップ 「モダン・ガールズ・コレクション」	2	22
コレクションルーム夏期 特集「人間国宝 稲垣稔次郎 ―遊び心に触れて―」 ギャラリートーク	1	12
「特別展 跳躍するつくり手たち：人と自然の未来を見つめるアート、デザイン、テクノロジー」 ギャラリーツアー	3	116
「生誕100年 回顧展 石本正」 ギャラリートーク・講演会	6	183
「マリー・ローランサンとモード」 講演会	2	-
「ルーヴル美術館展 愛を描く」 講演会	2	137
ザ・トライアングル「米村優人：BAROM（あるいは幾つかの長い話）」 アーティストトーク	2	120
ぽよよんDAYS	2	150



＜再整備基本計画：賑わい創出、MICE戦略の推進＞

- ・ 光の広間や庭園等を国際会議のレセプション等のユニークベニューとして積極的に活用

昨年度に続き、中央ホール、光の広間や東エントランスロビーをレセプション等のユニークベニューとして積極的に活用する。

内 容	期間（設営撤去期間含む）
藤井理紗ソプラノリサイタル	R5.6.12
井田幸昌展レセプションパーティー	R5.9.28~R5.9.29
ラルフローレン受注販売会	R5.10.3~R5.10.9
KYOTO EXPERIMENT 2023 ルース・チャイルズ公演	R5.10.12~R5.10.15
ハイブランド受注販売会	R5.10.16~R5.10.23
Art Collaboration Kyoto Opening Reception	R5.10.27
LIBRE 2023（デジタル絵画展示）	R5.11.17~R5.11.19
関西・歴史文化首都フォーラム	R5.11.27

令和5年度予算概要

令和5年度予算は、歳入が、展覧会収入の増加等により前年度比で1,400万円の増額となった一方、歳出は、運営経費の見直しや展覧会経費等の減少があるものの、光熱水費の高騰により前年度比で3,000万円の増額となり、一般財源（市税等）の負担は令和4年度から1,600万円増の3億4,000万円となった。

（単位：百万円）

項目	令和4年度 当初予算	令和5年度 当初予算	差引	予算のうち主なもの
歳入	679	693	14	コレクション展36、美術館使用料342、国補助金10、寄附金34、展覧会配当収入等270 など
歳出	1,003	1,033	30	展覧会企画・施設運営等785、コレクション展41、展覧会負担金等166 など
一般財源 (税負担額)	324	340	16	